

事務連絡
令和4年11月28日

全国水土里ネット多面的機能支払交付金促進協議会 会員各位

全国水土里ネット企画研究部

**農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム等について
(開催案内)**

平素より、全国水土里ネット多面的機能支払交付金促進協議会の会員の皆様におかれましては、多面的機能支払交付金を始め、土地改良、農村振興に向けた施策推進に御尽力いただいていることに感謝申し上げます。

当会は、農林水産省事業の実施団体となり、多面的機能支払交付金（以下「多面的機能支払」という。）について、全国シンポジウム等を開催することとなりました。

下記3にそれぞれの会議内容を記載しておりますので会員各位におかれましては、下記Vに表記されている各管内の参加者の取りまとめ等を行っていただきますようお願い申し上げます。

I 全体の概要

1. 開催日時 令和5年1月23日（月）～24日（火）
2. 開催場所 砂防会館別館1階シェーンパッサ（淀、木曾）他

3. 会議の構成(3部構成とします)

会議名	開催日時	対象者
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム	令和5年1月23日（月）13:30～16:30	①一般の方々、②多面的機能支払の活動組織、③都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、④地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者、⑤行政関係者、⑥ふるさと水と土指導員等
多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会	令和5年1月24日（火）9:30～12:00	①多面的機能支払の活動組織、②都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、③行政関係者、④ふるさと水と土指導員等
多面的機能支払活動の推進に係る担当者意見交換会	令和5年1月24日（火）13:30～16:20	①多面的機能支払の都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者等

Ⅱ 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部）

1. 開催方針

(1) 対象者

一般の方々、多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、地域資源の保全・活用に関心がある方、行政関係者、ふるさと水と土指導員 等

(2) 趣旨等

持続的な地域づくりに向けた農村RMO等の取組や、地域の持続的発展に欠かすことのできない視点であるSDGsについての知見を深め、農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた今後の方向性を考える機会とするとともに、多面的機能支払に係る活動や活動に対する理解の促進を図ります。

会場には地域資源の保全・活用に有益な技術を有する企業のブースを設置します。

※企業ブースは2日目の午前中（第二部終了）まで設置します。

2. 会場

メイン：会議室「淀」とWeb参加のハイブリッド

企業ブース：会議室「木曾」

3. 内容

令和5年1月23日(月)

13:30 開会(冒頭挨拶) 全国土地改良団体連合会常務理事 加藤 秀樹

13:35 来賓挨拶 農林水産省多面的機能支払推進室長 松本 勉 氏

13:30～14:10 講演①「持続的な地域づくりに向けたRMO等による取組の現状と今後の展開方向」(仮)

※講師：特定非営利活動法人「いわて地域づくり支援センター」
常務理事 若菜 千穂 氏

※概要：持続的な地域づくりに向けた取組の現状や事例を紹介いただきつつ、多面的機能支払組織などの農村地域の既存組織に期待される役割等を示唆いただきます。

14:10～14:40 講演②「多面的機能支払活動組織と農村RMO」(仮)

※講師：(一社)松永あんじょうしょう会(小浜市)会長 西田 尚夫 氏

※概要：農村RMOとして活動している事例をご紹介します。

14:40～15:10 講演③「多面的機能支払活動とSDGsについて」(仮)

※講師：(一財)日本水土総合研究所 主席研究員 葭井 功治 氏

※概要：多面的機能支払活動が SDG s そのものであることをご説明して
いただきます。

15:10～15:30 休憩

15:30～16:30 パネルディスカッション「今後の多面的機能支払活動に期待される役割
(持続的な農業・農村の構築に向けて)」 (仮)

【コーディネーター】

五日市 知香 氏((株)パイロットフィッシュ代表取締役)

【パネリスト】

若菜 千穂 氏(特定非営利活動法人「いわて地域づくり支援センター」常務理事)

西田 尚夫 氏((一社)松永あんじょうしょう会(小浜市)会長)

小野 吉信 氏(二本塚集落資源保全隊(宮城県仙台市)代表)

松本 勉 氏(農林水産省多面的機能支払推進室長)

4. 企業ブース リモコン草刈機や防草シート、コンクリート水路補修材などを展示します。

Ⅲ 多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会 (第二部)

1. 開催方針

(1) 対象者

多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、地
域資源の保全・活用に関心がある方、行政関係者、ふるさと水と土指導員 等

(2) 趣旨等

多面支払活動に携わっている活動組織等の関係者向けに、活動の一層効率的・効
果的な展開に向け、優良事例の横展開、地域資源の保全・活用に有益な技術の実演
(動画可) 等を行います。

2. 会場 メイン：会議室「淀」と Web 参加のハイブリッド
企業ブース：会議室「木曾」

3. 内容

令和5年1月24日(火)

9:30 開会(冒頭挨拶) 全国土地改良団体連合会 常務理事 加藤 秀樹

9:35 来賓挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室長 松本 勉 氏

9:40～10:20 講演①「三重県多気町における地域資源管理への ICT 活用事例の紹介」 (仮)
※講師：遠藤和子氏 ((国研)農業・食品産業技術総合研究機構農村
工学研究部門資源利用研究領域長)

※概要：三重県多気町で実施しているスマート農業実証プロジェクトを事例に、農村地域における地域資源管理への ICT 活用について紹介します。

10:20～10:50 講演②「草刈りフィールドラボの取組事例」(仮)
※講師：兵庫県多面的機能発揮推進協議会の担当者
※概要：県推進協議会が主催者となり、「草刈りフィールド・ラボ」として、活動組織、JA、草刈りメーカーが参画し、草刈りの省力化技術が体験できる実証ほ場の設置や現地研修会を開催した事例を紹介していただきます。

10:50～11:00 休憩

11:00～11:30 講演③「多面的機能支払活動組織のNPO法人化事例」(仮)
※講師：樽見内地域農地・水・環境保全組織(秋田県横手市)の関係者
※概要：社会的な信用と透明性を確保した組織とするため、設立当初からNPO法人化を目指し、平成19年12月に農地・水・環境保全向上対策の組織として秋田県で初のNPO法人化した事例を紹介していただきます。

11:30～12:00 講演④「地域の大学生との連携事例」(仮)
※講師：紫橋環境保全会(新潟県胎内市)の関係者
※概要：地域の更なる活性化と交流人口の増加を図るため、大学の開校に合わせ活動への参加者を募集。徐々に参加者が増加している事例を紹介していただきます。

IV 多面的機能支払活動の推進に係る担当者意見交換会 (第三部)

1. 開催方針

(1) 対象者

多面的機能支払の都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者

(2) 趣旨等

各都道府県や地域の抱える課題について、活動を推進する立場にある担当者間で意見交換を行い、相互に有益な知見の共有等を図ります。

2. 会場 砂防会館別館3階会議室「六甲」とWeb参加のハイブリッド

3. 内容

令和5年1月24日(火)

13:30 開会(冒頭挨拶) 全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 三木 秀一

13:35 来賓挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室長 松本 勉 氏

13:40～14:00 講演 テーマ「推進組織向けアンケートの結果(仮)」

※発表者は全土連。

14:00～14:40 テーマ「特色ある取組について(仮)」
課題克服等に向けて特色のある取組を行っている都道府県推進組織の方に事例発表してもらいます。

講演①「多面的機能支払の広報活動について」(仮)
※講師：熊本県多面的機能支払推進協議会御担当者

講演②「活動組織の広域化と土地改良区連携の推進について」(仮)
※講師：福井県多面的機能支払推進協議会御担当者

14:40～14:50 休憩

14:50～16:20 意見交換会
・ 都道府県推進組織の担当者同士で意見交換会を実施してもらうことを想定しています。